

春の全国交通安全運動に伴う 車内転倒事故防止に関する当社の取り組みについて

～車内転倒事故防止への取り組みを強化しております～

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋）は、5月11日（土）から実施される春の全国交通安全運動に合わせて、車内転倒事故防止のため積極的な取り組みを推進いたします。

当社では、日頃より車内転倒事故防止のため運転士・運行管理者への定期的な指導教育と添乗等の効果検証をおこなっております。また、車内転倒事故防止にはお客さまのご理解・ご協力が不可欠との観点から、車内ポスターの掲出・床面ステッカーの貼付・バス停放送設備での注意喚起などこれまでの取り組みに加えて、この度車内における自動放送の内容を更新いたしました。

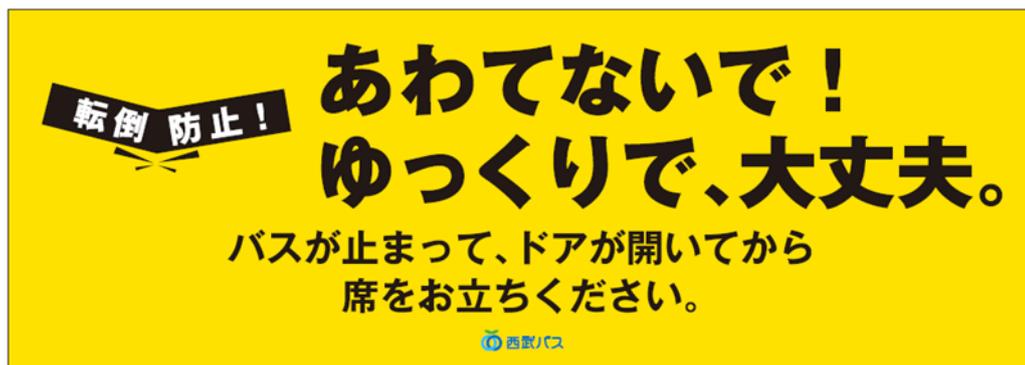
交通安全運動期間中はより一層の安全運行に努めてまいります。お客さまにおかれましても車内転倒などによるおケガを防止するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

取り組み事例

（1） 車内ポスターの掲出



車内ポスターサンプル画像 1



車内ポスターサンプル画像2



車内掲出イメージ

(2) 床面ステッカーの貼付



ステッカー貼付イメージ

(3) バス停放送設備（大泉学園駅南口1番乗り場）



※車内転倒事故防止・駆け込み乗車防止を自動音声で注意喚起

注意喚起の一例：

「お客様の車内転倒事故が増えております。走行中に座席から立ち上がるのは大変危険ですので、お止め下さい。」

(4) 車内自動放送の更新

今回更新した車内の自動放送

① 降車ボタン押下時

《従来》

次、止まります。お客様自身の安全のため、ドアが開いてから席をお立ち下さい。



《更新後》

車内転倒事故が増えております。ドアが開くまで車内の移動はお止め下さい。次、止まります。

② ドア閉め後

《従来》

発車いたします。手すり、つり革におつかまり下さい。



《更新後》

手すり、つり革にしっかりとつかまり下さい。発車します。

※各営業所の自動放送定期更新時に順次更新（11月までに全営業所更新完了予定）

安全運行に徹しておりますが、**他車の割り込み・思わぬ飛び出しなどやむを得ず急ブレーキをかける場合や交差点を曲がる際および路面状態により大きく揺れる場合がございます。**

お立ちになる場合は、つり革・手すりにしっかりとおつかまり下さい。

走行中や信号待ちなどの一時停止中に席を離れて、車内で転倒する事故も増えております。

また、両替いらずでスムーズに乗り降りできる、パスモ・スイカなどの IC カードをご利用ください。

下記の危険な例をご参照頂き、車内転倒事故防止へのご理解・ご協力をお願い致します。

【車内で見受けられる危険な例】

- ・スマートフォンやゲーム機器操作等で手すり・つり革におつかまりにならない。
- ・日の光がまぶしい・知り合いが乗ってきた等の理由で、走行中・一時停止中に席を移動される。
- ・両替のために、走行中・一時停止中に運賃箱付近に移動される。
- ・バス停到着前に降車ドア付近に移動される。
- ・空席があるのに着席されない。

以 上